

第15回 かながわ高齢者福祉研究大会

開催要項

見せよう！ 魅せよう！ ^{われら}現場の力！

福祉の新時代を創るのは「あなたたち」です

開催日 平成28年 6月2日(木)
午前9時30分～午後5時

プログラム

- 高齢者福祉施設職員・学生等による研究発表
- 高齢者福祉施設職員等による介護技術発表
- 福祉施設・就職相談コーナー
- 介護用品・福祉機器等の展示コーナー

会場 パシフィコ横浜 会議センター2階～5階
参加費 5,000円(事前申込制・介護協学生のみ無料)

主催 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会施設部会老人福祉施設協議会
第15回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員会

かながわ 高齢 大会 検索



社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉サービス推進部 社会福祉施設・団体担当

〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館内

☎045-311-1424 FAX045-313-0737 ✉sisetu@knsyk.jp ※参加申込方法等の詳細は大会ホームページでご案内します。

見せよう！魅せよう！^{われら}現場の力！

～福祉の新時代を創るのは「あなたたち」です～

- 趣 旨** 本大会は、多くの高齢者福祉従事者等の熱意に支えられ、これまでに延べ1918題の研究発表が行われ、介護技術発表には延べ94施設の参加がありました。15回目を迎える本年度についても、高齢者福祉施設職員等による実践活動の発表や、介護・福祉のプロを志す学生による研究成果の発表の場として、共に学び合い、研鑽することを目的に開催します。
また、学生や職業訓練生を対象とした高齢者福祉施設紹介・就職相談コーナーを教育現場との協働により開設し、次世代の介護・福祉業界を担う学生にかながわの介護現場の最前線を発信します。
- 主 催** 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 老人福祉施設協議会
第15回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員会
- 共 催** 一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会
社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 高齢福祉部会
社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 老人福祉施設協議会
社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 高齢者福祉施設部会
- 協 力** 神奈川県介護福祉士養成校連絡協議会
(予 定) ハローワーク横浜、かながわ福祉人材センター
- 後 援** 神奈川県・横浜市健康福祉局・川崎市・相模原市・公益社団法人神奈川県看護協会
(予 定)
- 日 程** 平成28年6月2日（木）午前9時30分から午後5時まで（受付は9時から）
- 会 場** パシフィコ横浜 会議センター3～5階（受付は2階エントランス）
- 参加対象者**
 - （1）高齢者福祉施設・介護保険事業所等の職員
 - （2）介護福祉士養成校等の学生および教育関係者
 - （3）高齢者福祉施設等のご利用者、ご家族、ボランティアの方
 - （4）その他、高齢者福祉に関心のある方

■タイムスケジュール

	9:00	9:30	10:00	11:51	12:00	12:41	13:10	14:40	15:00	15:30	16:00	16:40	17:00
パシフィコ横浜・会議センター	5階		研究発表(分科会)	昼食休憩	研究発表(分科会)	休憩	研究発表(分科会)	表彰					
	4階		高齢者施設の紹介・就職相談コーナー										
	3階		研究発表(分科会)	昼食休憩	研究発表(分科会)	休憩	研究発表(分科会)	表彰					
			介護技術発表	昼食休憩	介護技術発表	表彰							
	3階		高齢者介護用品・福祉機器等の紹介(協賛企業出展)										
2階		受付・インフォメーション											

※タイムスケジュールは都合により変更することがございますので、あらかじめご了承ください。

県内の高齢者福祉施設職員や福祉・介護のスペシャリストを目指す学生等が、日々の実践や研究成果をプレゼン形式で発表する本大会のメインプログラムです。

過去14回行われた大会では、延べ1918題の研究発表が行われてきました。

発表には新人職員から施設長まで、介護職員や看護師、栄養士、事務職員等、多様な立場や職種の方が参加し、福祉のプロを目指す学生の研究活動も好評です。



◆会 場 パシフィコ横浜 会議センター3・5階

◆内 容 ○発表は1題17分（発表10分・質疑2分・移動5分）の学会形式により、16テーマに分かれて行われます。詳細はp.3～4の発表一覧でご確認ください。

- 〔施設系〕 1 食事・栄養・口腔ケア
- 2 排泄・入浴ケア
- 3 認知症ケア
- 4 ターミナルケア・医療との連携
- 5 安全管理
- 6 アクティビティ・リハビリ・レクリエーション
- 7 ケアプラン・相談援助
- 8 ユニットケア・グループケア
- 9 人材育成・業務改善と効率化
- 10 その他（施設系）
- 〔在宅系〕 11 地域密着（グループホーム）・小規模多機能
- 12 地域包括支援センター
- 13 デイサービス事業
- 14 訪問介護・居宅介護支援事業
- 15 養護・軽費・ケアハウス等
- 16 その他（在宅系）

◆表 彰 ○発表の更なる質の向上と高齢者福祉の専門性を高めるべく、大会実行委員会で定める「研究発表実施要綱」ならびに「研究発表審査基準」に基づき、各会場で高得点だった上位3つの発表に優秀賞を授与します。

○実施要綱ならびに審査基準は、大会ホームページからダウンロードすることができます。審査結果は、大会終了後に大会ホームページ等で公開します。

◆ご 注 意 ○会場内での携帯電話の使用は、周囲への迷惑となるだけでなく、発表の妨げの原因にもなります。マナーモードに設定のうえ、通話やシャッター音のするカメラ機能の使用は控えてください。

○会場内での撮影は、学術的観点から制限はしませんが、発表や進行の妨げになったり、発表者の権利を著しく損なうことのないようご注意ください。

研究発表会場・時間割一覧（平成28年2月時点）

順番	時間	テーマ	第1会場 (301)	テーマ	第2会場 (302)	テーマ	第3会場 (303)	テーマ	第4
1	9:35	1	サンホーム厨房の「チャレンジレシピ」 ～利用者の笑顔のために 高齢者介護福祉施設サンホーム鶴間	3	認知症への個別ケア ～周辺症状への取り組み 横須賀愛光園	4	最期の日までマイペース ～施設全体で支える終末期 特別養護老人ホームメイサムホール	5	今、そこにある“菌” ～ペタンチェックで菌を
2	9:52	1	誤嚥予防、姿勢からのアプローチ 特別養護老人ホーム来夢の里	3	孤独な一日 ～体験してみても初めに分かる、利用者の辛さ 特別養護老人ホーム相生荘	4	看取り委員会での取り組みで見えてきたこと 湘南老人ホーム	5	減らせる事故は減らしたい ～皮下出血から考える
3	10:09	1	「また食べたい」と言わせたい ～ケアハウス、通所介護利用者の本音を探る 村岡ホーム	3	目覚ましB棟！！（重度認知棟） ～レク・リハでWAKE UP！！～ 特別養護老人ホームシャローム	4	看取り介護10年目を迎える現場の課題 すずかけの郷	5	抱え上げない介護へ ～ご利用者の負担軽減と
4	10:26	1	要介護高齢者の口腔清掃について ～仕上げ磨きの必要性 特別養護老人ホーム湖	3	『ユマニチュード』を実践して ～「目を見て話をしていますか？」 特別養護老人ホーム緑JOY	4	QOLの高い穏やかな生活の継続 ～認知症高齢者をFIMを基に比較検討する 特別養護老人ホーム太陽の家	5	事故から学ぶ ～“事故”で終わらせな
5	10:43	1	「パ・タ・カ・ラ」 ごはんですよ！ 特別養護老人ホーム菅の里	3	終わりの無い答え探し ～介護拒否の強いK様との1年8ヶ月 特別養護老人ホーム鶴生園	4	ターミナルケアの実現における連携の重要性 ～施設と在宅ターミナルケアの事例を踏まえて 特別養護老人ホーム野庭苑	5	事故報告書から見えた今 ～本当に必要だったのは 特別養護
6	11:00	1	たかがトロミ？されどトロミなんです。 ～ホームの実態調査からみえたもの 横須賀老人ホーム	3	若年性認知症支援について ～「怒り」の管理 特別養護老人ホーム金井原苑	4	胃瘻の方の看取り介護 特別養護老人ホームしゃんぐりら	5	事故防止対策の再アセス ～再発事故ゼロを目指して 特
7	11:17	1	介護食を安全で美味しく、健康的に ～介護食のあるべき姿 緑の郷	3	老保交流による今後の展開と展望 特別養護老人ホームかりん	4	終焉の住処 特別養護老人ホーム白朋苑	5	アクシデントループ ～ストップキャンペーン
8	11:34	1	食欲モリモリ！『岩澤食堂』本日開店 特別養護老人ホーム志田山ホーム	3	自分らしく居るために！ ～役割のある暮らし わかたけ鶴見	4	看取り介護を終えて 特別養護老人ホームしゃんぐりら	5	背筋がヒヤリとする現場 ～介護現場におけるヒヤ
	11:51		昼食休憩（50分）						
9	12:41	9	「知らない」を「聞いたことがある」へ ～聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥 特別養護老人ホームけいあいの郷緑園	3	地域での生活継続には住民の理解協力が必要 ～認知症対応型通所事業のすべ地域との交流 わかたけの家三ツ沢	4	もうひとつの看取りのかたち ～施設から自宅へ 特養ふれあいの泉	5	なぜ？その事故が… ～チームで取り組む事故
10	12:58	1	経口摂取でおいしく食事を摂りたい 介護老人福祉施設大師の里	3	みんなでお遍路、歩いて認知症予防 ～次のお寺まで何歩かな？ 横浜市富岡東地域ケアプラザ	7	インタビューから本音を見つける ～アセスメントの重要性 ニューバード	5	しっかりしてよ 職員さ ～声出して確認 二人で
11	13:15	1	イベント食でみんなが笑顔 特別養護老人ホーム恒春ノ郷	3	夜はぐっすり眠りたい！！ ～夜間入浴がもたらす効果について 特別養護老人ホームふじの郷	4	基準の共有化 ～連携強化を目指して 特別養護老人ホーム南太田ホーム	8	朝ゆっくり寝ていただく
12	13:32	1	生きる喜び 食の楽しみ 特別養護老人ホーム和みの園	3	ずっと我が家を目指して ～認知症状はケアにより改善できる ずっと我が家上清本町	4	ご安心ください！入れますよ！ ～特養における透析患者様の受入れについて ハートフルガーデン川和	15	施設から社会へつながり ～地域活動への参加を進
13	13:49	1	口福を目指して！ ～KTバランスチャートを活用した支援と取組 横浜市浦戸ホーム	3	「ぐっすり寝ましたよ」 ～第2の我が家の実現に向けて 特別養護老人ホームさつき	4	ご家族とチームとなって行う看取り介護 ～看取り介護家族勉強会をおこなって 特別養護老人ホームサニーヒル横浜	8	あなたの誕生日をプロデ ～集団の誕生日から個人 地域密着型特別養護老人
14	14:06	1	当施設における口腔機能管理の取り組み クロスハート幸・川崎	2	やればできる。わたしたち。 ～潜在能力を生かした支援をめざして 共栄荘特養ホーム	7	一人の人を支えるために ～ケアプランと記録の連動 ニューバード	15	みんなで取り組む歯みが ～ご利用者の口腔内環境
15	14:23	1	食支援から広がる輪 ～気づき×学び×体験×人×笑顔 松林ケアセンター	2	排泄について 特別養護老人ホーム和みの園	7	私たち、聴けてる？ ～自分達でロールプレイをしたら… 特別養護老人ホーム天王森の郷	15	「俺に支援は必要ないよ」 ～高齢視覚障害者への個
	14:40		午後休憩（20分）						
16	15:00	2	尿量測定による排泄ケアの見直し ～一人ひとりに合わせたケアへ 特別養護老人ホーム中川の里	2	オムツゼロの取り組みから次へ ～入居者ADL低下による排泄ケアの見直し 第二森の里	4	口腔リハビリと看取り援助 ～最後まで口からたべる 特別養護老人ホームハピネス都筑	14	事例から見える第2号被
17	15:17	2	下剤に頼らない排便コントロール 横浜能見台ホーム	10	老後はオセアニアで過ごしたい！ ～オーストラリア等への研修を経て 寒川ホーム	7	介護過程の展開 ～専門性へのチャレンジ 陽光の園	12	自分たちの地域を自分た ～当事者として共に地域 浦賀・久里
18	15:34	2	便秘を解消してQOLの向上へ 特別養護老人ホーム栗原ホーム	10	5S活動の取り組みについて ～整理整頓を習慣に 特別養護老人ホーム中川の里	10	スライディングシート、フル活用！！ ～ご利用者が安心できる介護について 特別養護老人ホーム希望苑	14	単身独居の在宅看取りに ～在宅看取りの課題（多
19	15:51	2	理想のオムツ交換追求中 ～Pursuit of the ideal～ 松みどりホーム	10	満足して働き続けられる職場とは。 わかたけ青葉	10	看護師は職員からどう思われているだろう ～職員アンケートの結果から 芭蕉苑介護老人福祉施設	12	農園活動でみんな笑顔に ～誰でも参加できる場を
20	16:08	2	温もり、ハンドで陽を元気に！ ～便秘改善に向けての多職種協働の取り組み 介護老人福祉施設幸風苑	10	川崎市で一番笑顔の溢れる施設を目指して 潮見台みどりの丘	10	外国人と働くということ ～EPA候補生を受け入れて7年経った今 新横浜パークサイドホーム	12	中学生と一緒に考える高 ～意識調査から見えてき 藤沢市湘南大
21	16:25	2	快適に過ごしていますか？ ～さわやかプロジェクトの歩 緑の郷	10	美しい姿勢で楽しい生活 ～円背改善による無限の可能性 特別養護老人ホームワゲン新横浜	10	マタニティ職員と共に働く為に ～ようこそ赤ちゃん！一緒に成長していこうね 特別養護老人ホーム恒春の丘	12	地域の力でみんな元気に！ ～ボランティア育成とサ
	16:42								
	16:50								
奨励賞・表彰式（10分）									

【テーマ】

《施設系》 1. 食事・栄養・口腔ケア 2. 排泄・入浴ケア 3. 認知症ケア 4. ターミナルケア・医療との連携 5. 安全管理 6. アクティビティ・
《在宅系》 11. 地域密着（グループホーム）・小規模多機能 12. 地域包括支援センター 13. デイサービス事業 14. 訪問介護・居宅介護支援事業 15.

会場 (304)	テーマ	第5会場 (315)	テーマ	第6会場 (501)	テーマ	第7会場 (502)	時間	順番
見える化してみました レジデンシャル常盤台	13	人生は、これから体操 ～認知症予防プログラムに取り組んで 介護老人福祉施設みやうち	6	達成感のあるレクリエーション活動の実施 ～継続的なレクリエーションの実践 特別養護老人ホーム中川の里	9	『ダメ!』はダメ、ダメ ～ストレスフリーな生活を目指して パークサイド岡野ホーム	9:35	1
新鶴見ホーム	13	通所介護における基礎生活レクリエーション ～一日まるごとレクリエーション デイサービスセンターかわしまホーム	6	QOLの向上を目指すための仕組みづくり ～日々の生活を彩る わかたけ青葉	9	「ここで働いていきたい」 ～先輩になった私たちにできること 特別養護老人ホーム富岡はまかぜ	9:52	2
腰痛予防 特別養護老人ホーム敬愛の園	13	デイサービスを通じての生活リハビリ ～出身地の北海道に連れていきたい 特別養護老人ホーム弥生苑	6	Shall we 体操 ～楽しみながら健康的な体操 特別養護老人ホーム芳徳の郷ほなみ	9	いつもそばにいるから ～寄り添えていますか、わたしたち 村岡ホーム	10:09	3
いために 横浜市天神ホーム	13	地域住民との関わりについて ～地域住民の方によるクラブ活動の実際 特別養護老人ホーム白朋苑	6	チーム南2で嵐の「ふるさと」を歌おう! ～特別養護老人ホームにおける生きがいの提供 特別養護老人ホーム太陽の國	9	職場の良い雰囲気づくりは接遇向上から ～接good! 皆が幸せになる5つのメソッド 養護老人ホーム湘風園	10:26	4
後の課題 (未来) 意識改革 老人ホーム新横浜さわやか苑	13	誤事故防止の取り組み ～ダブルチェックの重要性 上永谷デイサービスセンターすずかけの郷	6	みんなで元気に1・2・3!! ～“レクリバ” 始動! レジデンシャル常盤台	9	研修は活かされていますか? ～『学ばされる』から『学びたい』へ 寒川ホーム	10:43	5
メント 別養護老人ホーム横須賀椿園	13	ご利用者が輝けるデイサービス 芭蕉苑介護老人福祉施設	6	構音障害の理解とコミュニケーションの工夫 特別養護老人ホーム白朋苑	9	妊娠出産育児に関わる離職防止の取り組み 介護老人福祉施設わかたけ富岡	11:00	6
横須賀老人ホーム	13	利用者ご家族に寄り添えるデイサービス ～ご家族の「自宅みたい」の思いを共有して デイサービスセンター椿	6	笑顔と花を咲かせましょう ～自然を おいしく たのしく シャローム 特別養護老人ホームシャローム	9	よし! 改善活動しよう ～安心・温もり・満足の実現のために 特別養護老人ホーム太陽の家	11:17	7
リハットの重要性 新山下ホーム	13	家族も驚くデイサービスの取り組み ～えっ本当にやっているの? 横浜市野庭地域ケアプラザ	6	「意欲」と「行動」への支援 part2 ～なでしこYOKOSUKAと「コラボ」! 特別養護老人ホーム興寿苑	9	チームで取り組んだ福祉サービス第三者評価 ～取り組みのプロセスから得られたもの レジデンシャル常盤台	11:34	8
昼食休憩 (50分)							11:51	
防止 レジデンシャル常盤台	13	「デイサービスで生きがい探し」 ～身体が動かなくてもまだまだ現役!! 横浜市西金沢地域ケアプラザ	6	特別養護老人ホームにおける音楽のある日常 リバーサイド田名ホーム	9	想いの樫-TASUKIーをあなたへ ～新人教育について～見直そうエルダー制度 シルバータウン相模原特別養護老人ホーム	12:41	9
ん!! 確認 も一度確認 高齢者支援施設たまてこ	13	生活機能に焦点をあてた機能訓練について ～他職種連携を意識して 新鶴見ホーム	6	介護老人福祉施設でのリハビリテーション ～男性クラブを発足して 介護老人福祉施設ヴィラ泉	9	利用者体験を通して ～落ち着いている＝退屈 特別養護老人ホーム柴胡苑	12:58	10
介護老人福祉施設ヴィラ泉	13	Mさん朝ごはん食べましたか 芭蕉苑介護老人福祉施設こまよせ荘	6	自分の足でおトイレに行きたい! ～フットケアから学ぶ自立支援 横浜市浦舟ホーム	9	トレーナー・トレーニーについて ～お互いの成長を遂げるために 特別養護老人ホーム白朋苑	13:15	11
を めて 横浜市新橋ホーム	13	笑顔の先にあるものは… ケアセンター敬愛の園	6	アクティブなショートステイ 美立の杜	9	チームケアでPDCAをぐるぐる回す ～PDCAサイクル実践の定着に向けて 特別養護老人ホーム弥生苑	13:32	12
ユース! の誕生日へ ホームフレンド神木二番館	13	人材育成に関する取り組み ～職場の活性化や個々の成長を求めた 見風園デイサービスみのり	6	当センターにおける自己実現への取り組み 七里ヶ浜ホームデイサービス台	9	「CS委員会」活動を通じて伝えたいもの ～忙しいからこそ、振り返ろう! 特別養護老人ホームカトリアホーム	13:49	13
き習慣 の改善と感染症予防 養護老人ホーム敬愛の園	13	5つのグループ分けによる取り組み ～より良い空間作りを目指して 見風園デイサービス草柳	6	ハンバーガーを食べに行きたい! ～寝たきりの生活から外出支援への取り組み 横浜市新橋ホーム	9	中堅職員って、だあれ? ～「中堅職員だから…」と言われるけれど 横須賀老人ホーム	14:06	14
別支援 横須賀養護老人ホーム	13	ようこそ! Ristorante町田 デイサービス南さいわい	6	いっしょにアクティビティ!! ～コミュニケーションロボットの導入効果 新鶴見ホーム	9	接遇継続のすすめ ～あたたい思いやりのある介護を目指して 特別養護老人ホーム若竹苑	14:23	15
午後休憩 (20分)							14:40	
保険者の支援のあり方 横浜市左近山地域ケアプラザ	16	かながわライフサポート事業での取組 ～CSWの役割と事例を通じての関わり方 藤沢養護老人ホーム	6	1泊2日旅行 ～当たり前前の生活がもったいない 特別養護老人ホームみどりの園	9	嬉しいよ、ガーガーと言われないから ～接遇の方法での御利用者様の変化について 特別養護老人ホームやまびこ荘	15:00	16
ちで考えよう に関わることを目指し 浜第一地域包括支援センター	16	他職種連携による地域包括ケアの実践 特別養護老人ホーム芙蓉苑	11	共用型デイサービスを始めて 高齢者グループホーム三幸の園	9	ゴール無き役職 ～私達が管理職になってから 第2新横浜パークサイドホーム	15:17	17
挑む! 職種連携と地域課題) ケアセンターにし	16	自殺未遂者への支援方法の比較 ～危機介入時のケアマネジャーに必要なもの 芭蕉苑介護老人福祉施設	6	『パーソナル・ソング』を探し、喜びを! ～個人史を辿りゲストのお気に入りの曲を探る 特別養護老人ホーム愛成苑	9	価値のある創造を一人ひとりの意識から ～自らの手でありたい姿を求めて 特別養護老人ホーム太陽の家二番館	15:34	18
目指して 相原高齢者支援センター	16	見えない壁をつくったのは誰? ～連携は「地域でくらす」を支えること 神奈川介護事務所	11	外への第一歩 ～顔なじみの職員が施設にいる安心感 太陽の家馬堀倶楽部	9	「良いケアをしている人の発見」 ～208の「良いケア」から見えてきたもの 特別養護老人ホーム太陽の國ほどがや	15:51	19
齢者の見守り 庭いきいきサポートセンター	16	パーキンソン病に対する在宅生活支援 訪問看護ステーション青鷲	6	園芸療法の取り組み 新鶴見ホーム	9	フロア会議 進め方の工夫について ～『よりよい さくら山を目指して』 かまくら愛の郷	16:08	20
ロン運営 横浜市六角橋地域ケアプラザ	6	まだ、あるの…幸せ!? ～希望を叶える個別支援 香樹の里	11	「私を止めないで! 私らしく暮らすために」 ～本人本位の支援についてチームでの取り組み グループホーム相模原	9	リーダー研修+ネクストリーダー塾開催中 ～組織はトップの器以上のものにならない 特別養護老人ホーム愛成苑	16:25 16:42	21
							16:50	
奨励賞・表彰式 (10分)								

リハビリ・レクリエーション 7.ケアプラン・相談援助 8.ユニットケア・グループケア 9.人材育成・業務改善と効率化 10.その他(施設系) 養護・軽費・ケアハウス等 16.その他(在宅系)



今年で6年目となる実技型プログラムです。課題を分析し、介護支援計画を立て、計画に沿った介護技術を披露します。お互いに刺激し合うことで技術の向上を図り、自らの介護の再発見の場になることを目的としています。

大会参加者は技術発表を自由にご覧いただけますのでぜひご来場ください。

◆会場 パシフィコ横浜 会議センター3階 311~314

◆内容 ○日常の業務の中で従事者が向き合う場面を次の4つの部門に分け、発表者には大会実行委員会から提示される課題等に基づいて、介護技術を発表します。

- 1 口腔ケア
- 2 移動介護（トランスファー）
- 3 認知症ケア
- 4 緊急時対応「ノロ発生時の対応」

○発表は実技者1名、説明者1名、モデル役（兼任可能）は複数でも可能。

◆表彰 ○各部門には、福祉・介護分野の有識者、経験者により構成される評価者が配置され、実技内容についてのアドバイス、表彰を受けていただきます。

◆注意 ○場内の撮影は、発表者の施設関係者か腕章をつけている大会スタッフに限らせて頂きます。

◆発表施設一覧

発表部門	施設名	発表部門	施設名
口腔ケア	縁JOY	移動介護 (トランスファー)	あさみぞデイケアセンター
	村岡ケアステーションデイサービス		しらゆり園
	けいあいの郷 影取		横浜市浦舟ホーム
	寒川ホーム		けいあいの郷 緑園
	湘南ベルサイド		陽だまり
認知症ケア	寒川ホーム	緊急時対応 「ノロ発生時の対応」	カトレアホーム
	金井原苑		ヒューマン
	相陽台ホーム		ちくぶ坂下ホーム
	ワゲン新横浜		寒川ホーム
	けやき荘		美立の杜

※順不同に掲載しております。発表順ではございません。（平成28年2月時点）

※発表の順番等は4月以降別途大会ホームページでお知らせいたします。

福祉施設の紹介・就職相談コーナー ～誰かの笑顔のために、あなたの想いを！～ 9:30～15:30



☆昨年は神奈川県全域（政令指定都市含む）より87法人が参加しました。

神奈川県内の社会福祉法人（高齢者福祉施設等）の就職相談コーナーを設置します。

福祉業界の就職・転職をお考えの一般求職者及び学生の皆様、各施設の人事・採用担当者が、直接、施設の特色や仕事内容を紹介します。また、就職相談や質問にも応じます。※当日、現場職員の研究・介護技術発表を直接見ることで、職場や職員の様子を肌で感じる事ができます。

この機会に多くの法人ブースをまわり、また研究・介護技術発表を参観して自分にあう職場と出会ってください。

○一般求職者及び学生、特別支援学校の教諭、生徒の皆様

未経験、無資格でも大丈夫です。多くの法人が一堂に集まるこの機会にぜひ直接相談にお越しください。
※現場で働く職員の研究・介護技術発表も参観できます。

○県内の高齢者福祉施設の管理者・人事ご担当者様へ

神奈川県介護福祉士養成校連絡協議会加盟校及び東京都の一部の介護福祉士養成校、特別支援学校、県内のハローワーク、横浜に隣接する地域のハローワーク、かながわ福祉人材センターのご協力を頂き、多くの学生や職業訓練生、一般求職者の皆様のご参加を予定しています。ブース出展のご案内は大会ホームページ内「施設の紹介・就職相談コーナー申込要領」にてご確認ください。

介護用品・福祉機器等展示コーナー（協賛企業出展）

9:30～17:00



☆昨年は39ブースの出展がありました。

会場3階には、各種協賛企業による介護用品、福祉機器等の展示コーナーを設置します。

最新の介護福祉関連用品の様々を直接手にとって試すことが出来るチャンスです。ブースによっては試供品の配布などもありますので、お気軽にお立ち寄りください。

また、5階には福祉関連書籍の販売コーナーも設置されますので、あわせてご利用ください。

○ご協賛を検討いただける企業の皆様へ

第15回かながわ高齢者福祉研究大会では、大会趣旨とその運営にご協賛いただける企業を募集しております。協賛出展・広告掲載のご案内は大会ホームページ内「企業協賛広告・出展申込要領」にてご確認ください。

各種プログラム、大会ホームページに関するお問合せ

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 社会福祉施設・団体担当（大会事務局）

TEL 045-311-1424 FAX 045-313-0737

MAIL sisetu@knsyk.jp

URL <http://www.kanagawafukushitaikai.jp>

かながわ 高齢 大会

検索

大会参加申込のご案内

参加申込方法

名鉄観光サービス株式会社への一括申込となります。

下記専用ホームページ上で申込が可能のほか、本紙巻末（p.9）の参加申込書により F A X ・ 郵送での申込も承ります。

◆ホームページでの申込 <http://www.mwt-mice.com/events/kanagawa15koureisha>

◆FAX ・ 郵送の送付先 〒231-0015 横浜市中区尾上町4-52（横浜野村證券ビル内）
FAX 045-641-4169

◆受付期間 平成28年3月1日（火）午前10時～4月14日（木）午後5時まで
※いずれの申込みの場合も、申込受付期間の厳守をお願いします。

◆参加費 5,000円

◆参加対象者・費用

参加対象者	参加費用	備 考
施設職員 (大会当日休暇者含む・雇用形態を問わず)	5,000円	研究発表者及び介護技術発表者も参加申込 (費用負担) が必要
一般 (ご利用者及び高齢者福祉・地域福祉に携わる方)	1,000円	県内の当該高齢者福祉施設を通して期限内に 申込む場合に限り
ご利用者・ご家族、民生委員・児童委員、ボランティア、 発表者のご家族等	5,000円	個人での申込、または期限外の申込 (当日申 込を含む) の場合

○施設職員は、雇用形態や当日の出勤の有無等、いかなる理由によっても、一律で5,000円となります。身分を偽った申込があった場合には、受理することができません。

○大会当日に就職相談コーナーのブースで対応する職員の参加費は無料です。

◆留意事項 大会当日は、広報を目的とした写真撮影・ビデオ撮影等を行いますのでご了解の上、お申し込みください。(申込時点で撮影に承認いただいたものとみなします)

◆手続きの流れ



○参加申込はインターネット (WEB)、F A X、郵送のいずれかをお願いします。(電話申込は不可) ※

○WEB上で申込をいただいた場合、画面上で申込内容・金額等が常にご自身で確認いただけます。(変更・取消もWEB上で対応いたします)

○変更が生じた場合には、変更前の申込書 (先に送付した申込書) を訂正の上、必ず F A X にて (WEB上で申込された方はWEB上で) 名鉄観光サービス株式会社横浜支店までご連絡ください。

○大会資料引換等の各種利用券・請求書は、名鉄観光サービス株式会社横浜支店より一括して5月中旬頃より順次送付いたします。領収書については、振込用紙の控えをもってかえさせていただきます。また、振込手数料は申込者負担とさせていただきますのでご了承ください。

※WEB上でお申込をいただきますと、その後の手続きがスムーズです。

昼食(弁当)の申込

ご希望により昼食の弁当（お茶付）をご用意いたします

◆申込期間 平成28年3月1日（火）午前10時～4月14日（木）午後5時まで
※WEB・FAX・郵送のいずれかの方法で、参加申込と併せてご予約ください。

◆費用 1,500円（税込）

- 昼食は予約制とさせていただきます。当日の販売はございません。
- 当日は昼食引換券（後日送付）と交換になります。お忘れのないようご注意ください。
- 昼食のご用意は、参加費をお支払いのうえ、本大会にご参加いただく方に限らせていただきます。

変更・取消のご案内

申込後の変更・取消のご連絡はお早めをお願いいたします

- 変更・取消の時期によっては取消料が必要となります。
- 参加申込後のキャンセルや当日欠席の場合は、参加費の返金はいたしません。ただし、大会終了後「大会資料引換券」を大会事務局へご送付いただければ、大会資料を送付いたします。

大会開催日の前日から起算してさかのぼって

	11日目に 当たる日 以前の解除	10日目に 当たる日 以降の解除	7日目に 当たる日 以降の解除	4日目に 当たる日 以降の解除	大会前日の解除	大会当日の解除	大会開催後の 解除又は 無連絡不参加
大会参加費	参加申込後の大会参加費はご返金できません						
昼食弁当	無料	代金の20%	代金の30%	代金の40%		代金の50%	代金の100%

個人情報の取扱について

申込前に必ずお読み下さい

名鉄観光サービス株式会社横浜支店は、申込の際にご提供いただいた個人情報について、お客様との連絡のためや、各関係機関の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに利用させていただくほか、必要な範囲内で当該機関及び手配代行者に提供いたします。

- ◆大会主催事務局（社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会）に名簿作成等の目的により提供いたします。それ以外での目的でご提供いただく個人情報は利用いたしません。
- ◆上記のほか、当社の個人情報の取扱に関する方針については、当社の店頭またはホームページでご確認ください。（URL <http://www.mwt.co.jp/>）

◆大会参加申込に関するお問合せ◆

〒231-0015 横浜市中区尾上町4-52

TEL 045-641-4166 FAX 045-641-4169

MAIL masato.masubuchi@mwt.co.jp

営業時間 平日9:30～17:30（土日祝祭日定休）

総合旅行業務取扱管理者：福本昌弘 担当：増渕将人

大会参加申込用URL <http://www.mwt-mice.com/events/kanagawa15koureisha>

第15回かながわ高齢者福祉研究大会（6月2日開催） 参加申込書

申 込 日	平成28年	月	日	※楷書でご記入ください
法 人 名				施 設 名
施 設 種 別 (該当番号に○)	1 特養 2 養護 3 軽費・ケアハウス 4 デイサービス（ケアプラザ含む） 5 短期入所 6 グループホーム 7 小規模多機能 8 老健 9 その他			
住 所 (書類送付先)	〒			
T E L			F A X	
担 当 者 名 (フリガナ)	←申込に関する窓口となる方のお名前			
No.	参 加 区 分 (番 号)	(フリガナ) 参加者氏名	昼 食 (いずれかに○をつけてください)	
①			必 要 ・ 不 要	
②			必 要 ・ 不 要	
③			必 要 ・ 不 要	
④			必 要 ・ 不 要	
⑤			必 要 ・ 不 要	

 一
般
個
人
の
申
込
は
不
要

参 加 区 分			
1	理事長・施設長（管理者）	参加費一律 5,000円	施 設 職 員
2	相談員		
3	介護職		
4	看護職		
5	栄養士		
6	機能訓練指導員		
7	介護支援専門員		
8	事務職		
9	その他職種の施設職員		

参 加 区 分			一 般 （ 施 設 職 員 以 外 ）
10	ご利用者・ご家族	県内の当該高齢者福祉施設を通して期限内に申し込む場合に限り 1,000円	
11	民生委員・児童委員		
12	ボランティア		
13	発表者のご家族	個人での申込、期限 外の申込は5,000円	
14	その他（施設職員以外）		

＜必ずお読みください＞

●留意事項：大会当日は広報を目的とした写真・ビデオ等による撮影を行いますのでご了承の上、お申し込みください。

※申込時点で上記撮影に承認いただいたものとみなします。

- 1 参加申込書の控えを必ずお取り置きください。
- 2 参加者氏名の記入欄が足りない場合は、この用紙をコピーしてお使い下さい。
- 3 本紙に記入された個人情報、大会運営管理を目的とする場合に限り使用します。本大会では、個人情報保護に関する取扱契約を「名鉄観光サービス株式会社」と交わした上で、同社に参加とりまとめ業務を委託しております。
- 4 大会参加者同士の交流を図るため、本紙に記入に記載された情報をもとに参加者名簿（施設名、参加者名のみ）を作成し、当日参加者に配布する大会本冊子へ掲載させていただきますので、あらかじめご承知おきください。

＜参加申込に関するお問合せ＞ 名鉄観光サービス株式会社横浜支店

〒231-0015 横浜市中区尾上町4-52（横浜野村證券ビル内）
TEL 045-641-4166 FAX 045-641-4169

平成27年度

福祉施設の事故・紛争円満解決のために


 ホームページでも内容を紹介しています
<http://www.fukushihoken.co.jp>


社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン 1 施設業務の補償

(賠償責任保険、動産総合保険)

① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間 1 年職種別 A 級

▶補償金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金補償限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	初期対応費用(期間中)	500万円	500万円
	事故初期見舞費用(1名につき)	死亡 10万円 後遺障害 0.3~10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故で10万円限度)	死亡 10万円 後遺障害 0.3~10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故で10万円限度)
利用者傷害事故見舞費用			死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)

定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型)
保険料

+

【見舞費用加算】
定員1名あたり
入所: 1,300円
通所: 1,390円

●オプション1 ●訪問・相談等サービス補償
 ●オプション2 ●施設の医療事故補償
 ●オプション3 ●新設: 借用不動産賠償事故補償

② 個人情報漏えい対応補償

③ 施設の什器・備品損害補償

プラン 2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

① 入所型施設利用者の傷害事故補償

② 通所型施設利用者の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間 1 年職種別 A 級

▶補償金額	1口あたりの補償額
死亡保険金	100万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%
入院保険金(1日あたり)	800円
手術保険金	入院中の手術: 入院保険金日額の10倍 外来の手術: 入院保険金日額の5倍
通院保険金(1日あたり)	500円

▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり
①入所型施設利用者	1,310円
②通所型施設利用者	990円

③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-①、②の傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

プラン 3 施設職員の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

② 施設職員の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

保険期間 1 年職種別 A 級

▶補償金額	1口あたりの補償額
死亡保険金	140万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4~100%
入院保険金(1日あたり)	1,500円
手術保険金	入院中の手術: 入院保険金日額の10倍 外来の手術: 入院保険金日額の5倍
通院保険金(1日あたり)	600円

▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり
施設役員・職員の 1名1口あたり	3円(1日あたり) 780円(年間: 週5勤務の場合)

① 施設職員の労災上乗せ補償

③ 施設職員の感染症罹患事故補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体 社会福祉法人
 契約者 **全国社会福祉協議会**
 (引受幹事保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
 TEL: 03(3593)6824

取扱 株式会社 福祉保険サービス
 代理店 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

(SJK14-16349 2015.2.10 作成)

交通のご案内



パシフィコ横浜 周辺マップ PACIFICO YOKOHAMA MAP

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

総合案内 ☎045-221-2155 交通案内 ☎045-221-2166

1-1-1 Minatomirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Information ☎+81(45)221-2155

パシフィコ横浜

PACIFICO YOKOHAMA

